

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5年 1月 27日

事業所名 アスラボさばえ

保護者等数(児童数)

回収数 2

割合 100%

|  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                    | ご意見を踏まえた<br>対応   |
|--|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・<br>体制整備                                  | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 活動内容に合わせてスペースを確保している。  |
|  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 児童発達支援は保育士の資格を持った職員が行っている。   |
|  | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | お子様がわかりやすいように教室内をすべて構造化している。   |
|  | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 衛生的で快適な空間となるよう環境の整備を行っている。   |
| 適切な支援の提供                                     | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 発達段階に応じた適切な療育を行っている。   |
|  | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 2  | 0             | 0   | 0     |  | ご利用者様の特性に配慮しながらそれぞれの項目において必要な支援が行われるように計画している。                       |
|  | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 発達段階・特性に応じて支援計画を作成しそれに沿って支援を大々している。                                  |
|  | 8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか  | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 年間計画を作成し、全領域にわたって支援が行えるようにしている。                                      |
|  | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 0  | 1             | 0   | 1     |  | 当事業所のサービス提供時間がこども園等の保育時間と合わないため交流する機会を設定することは難しい。                    |
| 保護者への説明                                      | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 契約時に説明を行っている。  |
|  | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 2  | 0             | 0   | 0     |  | アセスメント時に説明を行っている。  |
|  | 12 保護者に対して家族支援プログラム( <u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等)が行われているか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | ペアレントトレーニングと言ったしっかりとしたプログラムではないが療育内容について情報の共有を行いご家庭と連携し一貫した支援を行っている。 |
|  | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  | 送迎時に話が出来る場合はその場でお伝えしている。お会いできなかった場合は連絡帳ツールを利用し情報の共有を行っている。           |
|  | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 2  | 0             | 0   | 0     |  |  |
| 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 0   | 1  | 0             | 1   |       | 現在保護者会はないが、保護者様同士がつながりを持てるような場を検討していく。 |  |

|         |    |   |   |   |   |   |   |
|---------|----|---|---|---|---|---|---|
| 等       | 16 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 2 | 0 | 0 | 0 | 相談や申し入れがあった際は管理者が、迅速かつ適切に対応を行っている。  |
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 2 | 0 | 0 | 0 |   |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか                | 1 | 1 | 0 | 0 | 連絡帳ツールを使用し行事予定、活動報告などを行っている。また、ホームページで自己評価を公表していく。                        |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 2 | 0 | 0 | 0 | 個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報が含まれるものに関しては鍵付きの書庫に保管している。また、個人情報の取り扱いについて職員に徹底している。 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。            | 2 | 0 | 0 | 0 | 各種マニュアルは作成しており年に2回訓練を計画している。保護者様へは契約時に説明を行っている。                           |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 1 | 1 | 0 | 0 | 児童発達支援のご利用者様はまだ、避難訓練を実施していない。年に2回は非常災害訓練を行う。                              |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 2 | 0 | 0 | 0 | 今後も楽しく通っていただけるような活動を行っている。  |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 2 | 0 | 0 | 0 | 丁寧な説明と支援を引き続き行い、満足していただける事業であり続けられるよう努力をしていく。                             |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。